



MIYAGI CHILDREN'S HOSPITAL

宮城県立こども病院

広報紙

<http://www.miyagi-children.or.jp/>



発行：地方独立行政法人 宮城県立こども病院 〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合四丁目3-17 TEL:022-391-5111 FAX:022-391-5118

東日本大震災から5年～病院機能継続対応～

院長 林 富



2011年3月11日の東日本大震災から5年が経過しました。この大震災により多くの医療施設が被害を受けBCP（事業継続計画）の見直しが必要になりました。

当院は免震構造でしたので震度6強の揺れによっても建物・医療機器にはほとんど被害はありませんでしたが、下記のような課題が明らかになりました。

- ① 商用電力停止時の自家発電対応の充実が必要になりました。
- ② 情報ネットワークがダウンし一時、固定電話、携帯電話、インターネットが使えなくなり情報孤立状態になりました。
- ③ 救急車の機能が充分ではなかったことにより院外活動が制限されました。
- ④ 食糧や医薬品の備蓄が3日分であったため、確保に苦労しました。

これに対し拓桃医療療育センターとの合併統合（平成28年3月1日に1法人1病院化）整備事業を進めながら数年かけてこれらの問題解決に取り組んで参りました。その結果、

- ① 自家発電設備の強化と多様化（ガスコジェネレーションシステムの強化と軽油ガスタービン発電システム新規導入）及びスマートエネルギーシステム（太陽光発電、蓄電池、ガスコジェネレーションシステム）の導入により少なくとも最短で3日間310kWの自家発電が可能になりました。
- ② 衛星携帯電話の購入、衛星屋外アンテナ設置等により、固定電話、携帯電話及び地域インターネットがダウンしても情報収集・交換が可能になりました。
- ③ 大型ドクターカー及びスタッフ輸送可能な車輛を購入し、災害時の院外活動、支援活動に対応可能となりました。
- ④ 7日間の食料（患児及び付き添いのご家族用）及び医薬品を備蓄しました。

加えて、医療機関と行政、関係機関の情報共有ツールとしての広域災害救急情報システム（EMIS）への加入や、広域災害相互支援システム等の構築が重要であると考えています。

病院理念

- 私たちは、こどもの権利を尊重し、こどもの成長を育む心の通った医療・療育を行います。
- 私たちは、高度で専門的な知識と技術に支えられた、良質で安全な医療・療育を行います。

病院の基本方針

- ① チーム医療、成育医療及び総合的な療育プログラムを実践し、温かい医療・療育を行います。
- ② こどもの成長・発達に応じたきめ細やかな医療・療育を行い、自立の心を育みます。
- ③ 一人ひとりの成長・発達に寄り添い、安全で潤いのある療養・療育環境を整えます。
- ④ 小児医療と療育の中核施設として、地域の関係機関と連携し、患者や家族の地域での生活を支えます。
- ⑤ こどもや家族と診療・療育内容の情報を共有し、情報公開に努めます。
- ⑥ 自己評価を行い、外部評価を尊重するとともに、業務の改善や効率化を図り、健全経営に努めます。
- ⑦ 臨床研究及び人材の育成を推進し、医療・療育水準の向上に貢献します。
- ⑧ 職員の就労環境を整備するとともに、職員の知識・技術の習得を支援します。

Contents

部門紹介	2
クリスマス会	3
ボランティア紹介	3
地域医療連携室だより	4
新病院棟紹介	5
院内サークル紹介	6
行事予定	6
編集後記	6



日本医療機能評価機構
認定第JC1934号

当院は日本医療機能評価機構の認定病院です。

部門紹介



血液腫瘍科

(部長 佐藤 篤)



左より 山村 菜絵子 医師、佐藤 篤 部長、今泉 益栄 科長、小沼 正栄 部長、南條 由佳 医長

血液腫瘍科は、現在常勤医師4人＋レジデントの診療体制で、近接の東北大学小児科と緊密な診療連携体制を組みながら、小児がんや血液疾患の診療を行っています。病棟では主に小児がんの患者さんに化学療法や造血幹細胞移植を行い、2015年12月末までに56例(骨髄移植28例、臍帯血移植24例、同種末梢血幹細胞移植4例)の移植実績があります。2012年10月からは移植後フォローアップ外来を開設し、移植を終えた患児へのよりきめ細かい診療を実践しています。また外来では、貧血、血小板減少、好中球減少など、さまざまな症状の患者さんの診療を行っており、特に血友病専門外来へは広く県外からも患者さんが通院しておられます。当科では院内学級の先生方や保育士、チャイルドライフスペシャリスト、臨床心理士、ソーシャルワーカーなど成育支援スタッフの皆さんとの連携を大切にしながらチーム医療を実践しています。セカンドオピニオンの依頼にも対応しています。

チャイルド ライフ スペシャリスト

(大塚 有希)



大塚 有希

入院は、お子さんご家族にとってストレスを感じる出来事であふれています。見慣れない機械、見知らぬ大人、痛みや不快を伴う処置、聞き慣れない言葉、いつまで続くか分からない制限された生活。このような状況にあるお子さんご家族の精神的負担が少しでも軽くなるようにお手伝いするのがCLSの役割です。病院で経験すること(例えば検査や処置)についてお子さんが理解できるように説明することや、検査や処置のときにそばに寄り添いディストラクション(注意転換や呼吸法などで苦痛緩和を図る)を実践することはCLSが行っている支援のひとつです。また、お子さんの成長に欠かすことのできない遊びの時間も大切にしています。制限された環境だからこそ、楽しいと感じたりストレスを発散したりする機会をたくさん作れるように努めています。これからも、お子さんご家族が常に主役でいられる療養環境を目指し、このような支援を続けていきたいと思っています。

クリスマス会

(薬剤部 薬剤師 富岡 聖弥)



12月18日にども病院クリスマス会が開催され、愛子ホールでは病院職員やボランティアの方がそれぞれ楽しい催しをしていました。

私は愛子ホールまで降りて来られなかった子どもたちにトナカイ役として、サンタさんと一緒に2F、3F、4F病棟を廻ってプレ

ゼントを渡しに行きました。

薬剤部内の仕事だと中々、患者さんと会ってお話をする機会がないので、今回の経験はとても新鮮でした。

プレゼントを渡しに行くと、恥ずかしそうに受け取る子、サンタさんとトナカイが怖くて泣き出してしまう子、喜んでくれて挨拶してくれる子など、その子によって色々な反応で私たちを歓迎してくれました。



訪問している中で、病棟の職員の方より「このような行事があることによって離床が進んでいる」と嬉しい言葉を頂きました。今回の経験で患者さんに、病院に少しでも貢献できて良かったと思います。



ボランティア紹介 ボランティアゆりかご懇親会

(田仲 悦子)



1月9日、ボランティアゆりかごの初めての懇親会が92名の参加を得て開かれました。

活動曜日や活動場所を超えての交流の場が欲しいという声を聞き、各曜日の連絡係りで話し合いを持ち、全員が同希望であった事から、開催が決まりました。

第一部は愛子ホールで、『これからのこども病院について』林院長先生の講演と日本病院ボランティア協会から表彰受けられた方々へ感謝状の贈呈式がありました。第二部は新設の職員ラウンジで立食パーティーが行われ、其々が円卓を囲んで、多くの方と語らい、パーティー



の後半では、なぞなぞや伝言ゲームで会場に笑い声が溢れました。

活動での喜びや悩み等を話し合うには時間が足りなかったかなとも思いますが、たくさんの方と顔見知りになれ、次に会った時に声を掛け話をするきっかけは作れたのではないのでしょうか。私たち連絡係りも準備作業を通して交流が持て協力して行事を成功させる楽しさを味わわせて頂きました。拓桃館での活動も始まります。この親睦会での交流を活力にして、新しい『ボランティアゆりかご』踏み出しましょう。

地域医療連携室だより

登録医の先生方へ（お知らせとお願い）

内分泌科・耳鼻咽喉科・児童精神科について

当院では、現在非常勤医師の診療科のうち、内分泌科・耳鼻咽喉科・児童精神科は原則として院外からのご紹介は受け付けておりません。どうかご了承ください。

地域医療研修会のご案内方法について

当院地域医療研修会のご案内は、これまで登録医の先生方にハガキで通知しておりましたが、新年度以降は業務効率化の一環として、電子メール（ご登録をいただいた先生となります）と、当院ホームページ <http://www.miyagi-children.or.jp/> のご案内へ移行させていただきます。

なお、登録医の先生方からのメールアドレス登録は継続してまいります。ご希望の方は、下記の当院地域医療連携室メールアドレス宛か、ファクス宛お申し込みください。

その際、

- ① 貴医療機関名
 - ② ご氏名
 - ③ 先生のメールアドレス（PCに限ります。携帯・スマホ専用メールアドレスはご遠慮下さい）
- を記載いただき、ご送信お願いいたします。

送信先: tiiki@miyagi-children.or.jp

なお、ご教示いただいたメールアドレスは個人情報として厳重に取り扱い、研修会等のご案内並びに緊急時の連絡以外には使用いたしません。

何卒ご理解、ご協力よろしくお願いいたします。

地域医療研修会のご案内

臨床放射線病理カンファランス.....

当院診療部より2症例提示予定で、当日参加の先生方からの症例提示も歓迎いたします。詳細は、順次電子メールでご案内さしげるとともに、当院ホームページに掲載いたします。

本カンファランスは、日本医師会生涯教育講座認定（1単位）申請予定です。

第37回	平成28年 6月 8日(水)	18:00～	場所：宮城県立こども病院 愛子ホール
第38回	平成28年 9月14日(水)	18:00～	同上
第39回	平成28年12月14日(水)	18:00～	同上
第40回	平成29年 3月 9日(水)	18:00～	同上

第8回「七夕の集い」.....

本年も、研修会と交流会を兼ねた第8回「七夕の集い」を下記日程で開催予定です。詳細は、後日登録医や関係医療機関の先生方にご案内を差し上げます。是非、ご参加いただきますようお願いいたします。

宮城県立こども病院 第8回「七夕の集い」

開催日時 平成28年7月6日(水) 19:00～20:00

場 所 江陽グランドホテル

標記の研修会以外にも、輸血研修会、感染対策研修会、安全対策研修会、小児看護研修会等の開催を予定しております。詳細が決まり次第、当院ホームページ <http://www.miyagi-children.or.jp/> に掲示しますとともに、メールアドレス登録済みの先生方へ電子メールでご案内いたします。

宮城県立こども病院 地域医療連携室 室長 虻川 大樹

〒989-3126 仙台市青葉区落合四丁目3-17 TEL:022-391-5115(直通) FAX:022-391-5120(直通)
E-mail: tiiki@miyagi-children.or.jp 開室時間／月～金曜日(祝日、年末年始は除く) 8:30～17:15

新病院棟紹介

今回は、一階の外来診察室周辺と三階病棟内取材させていただきました。



診察室前のスペースが広く設計されています



拓桃館一階
外来診察室周辺

本館側から拓桃館側への渡り廊下です



外来の各室



診察室も広々としています

拓桃館三階病棟



病室です



トイレです



介護浴室です



浴室です



浴室の浴槽です

宮城県立こども病院 院内サークル紹介

「Outdoor & Adventure Club (OAC)」の活動

(心臓血管外科 佐藤 充)

今回は私たちの主な活動についてご紹介させていただきます。

部の発足は2013年に遡り、正規部員は心臓外科、循環器科をはじめとした4~5名ですが、イベントごとに希望者は誰でも参加することができる気軽さが当部の特徴となっています(医師、看護師、薬剤師を始め最大時は20~30名程度になることも)。

発足当初から、その名の通り野外での活動を主としておりますが、基本的には「皆で楽しめるイベント」がコンセプトですので、時には屋内での活動も行っております。以下に具体的な活動内容をお示しします。

上記の通り、これ以外にも「面白



ママチャリ会場にて

そうなイベント」については積極的に考案、参加して行きたいと考えています。「こんなことやってみたい」などのアイデアをお持ちの方は是非当部まで御相談頂き、一緒に楽しみましょう！



芋煮時、河原にて

=OACの主な年中行事(随時変更、追加可)=

●ママチャリレース in SUGO

多人数でチームを構成し、ママチャリでの耐久型のレース
*年4回開催のうち、夏季を除く3回にエントリー

●夏のBBQ

河原やロッジなどの開催。中には楽し過ぎて着衣のまま川に飛び込む者も！

●秋の大運動会&芋煮

体育館を貸し切った大運動会。その前後では皆で芋煮も作り盛り上がります。芋煮以外にもアイデア料理も随時作成！

●その他、送別会 etc...

行事予定

- 3月 3日 第131回まほうの広場コンサート
- 3月 8日 第132回まほうの広場コンサート
- 3月 9日 第49回クリニックラウン訪問
- 3月22日 スマイリング・ホスピタル・ジャパン
- 3月29日 仙台杜の劇場訪問
- 4月13日 第50回クリニックラウン訪問
- 4月21日 病院軽音楽部
- 4月26日 スマイリング・ホスピタル・ジャパン



編集後記

誰にとっても、いくつになっても春は新たな気持ちにさせられ、どこか心がときめく季節ではないでしょうか。今年の冬は当初暖冬と言われていましたが、1月末から2月にかけての冷え込みは厳しく、積雪も多く、患者さんの通院に支障を来したり、職員が通勤に難渋する日がありました。私自身も、夕方帰宅時に、車が積雪のため職員駐車場から出られなくなり、防災センター職員の方々が幹線道路へ出られるよう除雪して下さるなか、お礼もそこそこに帰宅したことがありました。

さて、宮城県立こども病院は、拓桃館が昨年7月に竣工し、これまで秋保で診療をしていた拓桃医療療育センターの移転が完了しました。本年3月1日から入院診療、3月7日から外来診療を開始し、急性期から、リハビリ、慢性期、在宅までを広くカバーする小児周産期医療の専門病院として新たにスタートとなりました。これからも、広報紙「いのちの輝き」は、関連機関の皆様に当院の最新の情報や話題をおとけしていきたいと考えます。どうかご高配をよろしくお願い申し上げます。

(地域医療連携室主任 真嶋 智彦)

地方独立行政法人 宮城県立こども病院

〒989-3126

宮城県仙台市青葉区落合四丁目3-17

TEL:022-391-5111 FAX:022-391-5118

<http://www.miyagi-children.or.jp/>

広報委員会

委員長 田中 高志

広報委員 虻川 大樹 今泉 益栄 安達 恭子 伊深 智啓
櫻井奈津子 佐々木正臣 佐藤 寿樹 佐藤 芳則
富岡 聖弥 真嶋 智彦 松谷ひとみ 三上 静香
横内 由樹 吉田さやか

